

平成26年度忠霊塔・忠魂碑等の実態調査表

報告年月日 平成 年 月 日

① 名称	(東川)慰霊塔
② 建立場所	安芸市入河内船岡山778-2-2
③ 敷地面積	839㎡
④ 建立年月日	昭和30年4月10日竣工(昭和29年11月10日着工)
⑤ 敷地所有者	東川村(現安芸市)
⑥ 建立主体	安芸市建立記録に、 「安芸市長 仙頭宜清 支所長 有澤利水 遺族会長 大井武美 発起人 有澤玉重 大井武美 有澤鹿一」とある。
⑦ 建立の経緯等	東川村当時の昭和28年ごろから慰霊塔建立の計画があったようであり、昭和29年安芸市合併直後に着工したものである。記録に 「施工人 信清茂助 書家 小松大将、岡松参郎 奉仕 青年団一同」とある。 隣に帝国在郷軍人会東川分会主催による忠魂碑が、大正10年10月に建立されており、慰霊塔に合祀されているか不明。(野根山二十三士の岡松恵之助(大井村出身)も慰霊塔に合祀されている。)
⑧ 建設総費用 (財源等)	不明
⑨ 忠霊塔等の所有者	安芸市
⑩ 現在の管理者	現在遺族会の組織が無いため、平成24年まで入河内老人クラブが管理してきたが、同クラブ解散のため平成25年より入河内地区が管理している。

⑪維持管理の方法	船岡神社の神祭(7月第1日曜日、11月第1日曜日)に合わせて屋根の清掃、草刈り等を実施
⑫慰霊祭の実施状況	昭和49年頃まで東川戦没者遺族会において慰霊祭が行われていたが、昭和50年頃から安芸市の合同慰霊祭が行われるようになり、当地区での慰霊祭は行われていない。
⑬霊名碑等の有無	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <input checked="" type="radio"/> 有 </div> <div style="text-align: center;"> <input type="radio"/> 無 </div> </div>
⑭戦没者の合祀者数	105人 (幕末以降の戦没者が含まれていると思われる)
⑮備考 (参考となることがあれば記入願います)	遺族会の再結成は困難であり、入河内地区で管理していくことになる。建物内の天井の壁が一部剥離しており、改修が必要となっている。